

式 辞

旭小学校のシンボルである雄大なメタセコイヤの木に見守られ、柔らかな春の息吹が校舎や校庭に満ちあふれている今日の良き日に、第七十四回卒業証書授与式を挙行できますことは、卒業生はもとより、わたくしたち教職員にとりましても大きな喜びでございます。新型コロナウイルス感染症予防のため、保護者の皆様のご臨席を、各ご家庭一名とさせていただきます。誠に申し訳ございませんでした。また、高い席からではございますが、ご臨席の保護者の皆様に心から感謝申し上げます。ただ今、卒業証書を授与しました七十八名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませす。

皆さんが六年生になった二〇二〇年は、世界にとっても、日本にとっても、そして

旭小学校にとっても激動の一年になりました。

思い起こせば、皆さんが五年生として最後のまとめの時、最高学年の六年生になる心構えをしていた時に、学校は一斉休校となりました。そして、六年生として初めて登校した四月七日は、新しいクラスの友達と新しい担任の先生を確認し、新しい教科書を手にするだけで終わり、再び長い休校になってしまいました。本来なら希望に胸を膨らませながら六年生としてのスタートを切り、新しい教室で、みんなと一緒に楽しく勉強できる学校生活が始まるはずでした。長い休校期間は、家にいる時間が長く、辛い日々だったと思います。先生たちも、子どもたちの明るく元気な声が聞かない学校に来て、学校再開に向けての準備を黙々とする日々が続きました。

そして、ようやく五月の終わりには、休校が解除され、始めは分散登校ではありま

したが、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。登校初日に校門の前で皆さんのほじけるような笑顔を見た時、やはりみんなが揃って一緒に勉強することができる学校は、素晴らしいと心から思いました。

しかし、ようやく始まった学校ですが、引き続き様々な制限が設けられた中で、学校再開でした。授業の時間を確保するために様々な行事が中止になり、夏休みも短くなりました。けれど、そんな中でもこの一年間に、皆さんの輝く姿を様々な場面で目にすることができました。

通学団では、慣れない学校生活に不安だらけの一年生の手をとり、優しく面倒を見てくれる姿。委員会活動では、けがをした下級生を優しく介抱したり、廊下を走る下級生に優しく声をかけて注意したり、配膳室で給食の後片付けをてきぱきとしたりする姿。いつもの運動会とは違った形で開

催された旭リンピックでは、最高学年として、全校の心を一つにしようと様々な工夫をして全力で取り組む姿。修学旅行では、様々な制限がある中でも、見る物に目を輝かせ、一生懸命にメモをとる姿。どれもやれないことを悲しむのではなく、今やれることに全力で取り組もうとする姿ばかりで、旭小学校の六年生として誇らしく思えるものばかりでした。

六年前、皆さんは、わくわくドキドキしながら小学校に入学してきました。あれから六年、たくさんのことを学び、経験してきたことと思います。そして、その学んだこと、経験したこと、特にこの激動の一年間に経験したことは、きっと皆さんがこれから成長していくための大切な糧になるはずです。

以前、学校集会で紹介したスマップが歌った「世界に一つだけの花」の歌詞に、こんな言葉があります。人は、一人一人違う

種を持つ。小さい花や大きな花、一つとして同じものはないから、その花を咲かせることだけに一生懸命になればいい。ナンバードワンにならなくてもいい、人は、もともと特別なオンドリーワンなのだから。

人にはそれぞれ一人一人に個性があります。これからは、自分が持っている個性を伸ばすための努力を重ね、「個性」という種を育て、「夢」という世界に一つだけの花を咲かせてください。

皆さんは、これからいろい로운なことに挑戦し、数多くの壁を乗り越えていかななくてはなりません。きつと上手くいかずに悩んだり、立ち止まったりすることもありますが、しょう。しかし、そんな時こそ、どんなに失敗してもあきらめず、地道に努力を続けることが大切です。ほんの小さな一歩でも、毎日少しずつ努力を続ければ、きつと夢は実現できるはずです。

卒業生の皆さん、いよいよ旅立ちの時が

きました。旭小学校は、今までも、そしてこれからもずっと、皆さんのことを応援し続けます。そして、悲しいことやつらいことがあって、くじけてしまいたいようになったら、旭小学校の校歌を大きな声で歌ってください。きつと元気になって、また前進できるはずです。

なお、卒業証書授与式を挙行するにあたり、卒業記念品として、尾張旭市より「英和辞典」を、旭小学校PTAより「卒業証書ホルダー」をいただきました。

終わりになりますが、本日も臨席を賜ることはできませんでしたが、子どもたちの健やかな成長にお力添えをいただきました。尾張旭市教育委員会、ならびに、地域の皆様方に厚くお礼を申し上げ、式辞といたします。

令和三年三月十九日

尾張旭市立旭小学校長 浅野 謙一